

平成28年度 学校関係者評価報告書

大阪市立敷津小学校 学校協議会

1 総括についての評価

国語の授業研究を中心に、「書くこと・伝えること」に重点をおき、全校児童文集『敷津の子 第4号』の発刊につなげた。また、イングリッシュタイムやインターナショナルデイを実施し、世界につながるグローバルな視野も広がった。

しかし、全国学力・学習状況調査も大阪市学力経年調査も、全市平均を下回っているので、学力向上にはより力を注ぎ、子どもたちの学力保障をお願いしたい。

2 年度目標ごとの評価

年度目標1：「わかる・できる」を保障し、中学へつなぐ基礎学力を育成する
教員全員が研究授業を行い、若手教員をみんなで育て、書く力の育成のために全校作文集を作り、百人一首や暗唱にも取り組み、読書活動も活発にしているにもかかわらず、なかなか学習規律が定着せず、全国や大阪市の学力調査でも大阪市平均よりも低いところを何とかしてほしい。
年度目標2：「つながる」ための人権教育の実施
いじめに対して、学期に一度のアンケートのみならず、月に一度の連絡会で児童情報を交流・共有し、たえずアンテナをはって児童理解に努め、早期発見早期解決を積み重ねてきた。また、国際理解教育に重点をおいて、毎週のイングリッシュタイムで英語に慣れ親しみ、留学生を招いたり、中国・台湾の視察団を受け入れたり、土曜授業でインターナショナルデイを実施したり、かなり積極的にグローバル化改革を推進している。
年度目標3：特別支援教育の理解を深め、教育活動に活かす
毎月、生活指導特別支援教育連絡会を定期的計画的に開催し、児童理解と情報共有に努めた。また、要支援の児童について、関係諸機関と連携して何度もケース会議を開き、よりよい方向性を示すことができてよかった。
年度目標4：「基本的な生活習慣～歯の健康習慣～」の定着
学校歯科医を招いて集会を開いたり、健康委員会で「歯みがきの歌」（替え歌）を作って給食の時間に流したり、様々な啓発活動を実施している。しかし、その結果、学校アンケートで「子どもが基本的な生活習慣を身につけてきている」と答えた割合を見ると前年度比とほぼ同じ。家庭の教育力の低下と二極化がうかがえるので、更なるケアをお願いしたい。
年度目標5：運動を自主的に楽しむ習慣の育成
学校挙げて、一人一人に様々な体験とチャレンジの場を保障すると宣言し、バレーボール・ソフトボール・陸上・すもう・水泳等、外部の大会や記録会に多数参加して、子どもの体力向上と運動意欲に努めている。
年度目標6：安心・安全な学校づくり
授業中は、支援スタッフを多数配置して、隙間時間のトラブルを未然に防ぐよう努め、登下校・放課後には地域の皆さんに見守ってもらい、警察とも連携して、昨年度は不審者事案もゼロ。

年度目標 7：保護者・地域・社会とつながる学校

土曜授業（劇団しきつ・なかよしラリー・地域防災訓練・インターナショナルデイ）を参観したり、一緒に参加したりして、子どもたちと交流することができて、とてもよかった。また、ホームページも充実していて、よく見させてもらっている。引き続き、継続発展をお願いしたい。

年度目標 8：校務分掌の円滑遂行のための協力体制づくり

パソコンを使って業務の効率化が図られているとのこと。新しい時代に対応して欲しい。校長先生の面談や授業参観が少ないとのこと。もっと見てやってほしい。

3 今後の学校運営についての意見

地域コミュニティーの拠点として、地域に開かれた学校、地域とつながる学校として、児童一人一人が活躍できるよう様々な取り組みをしていることは高く評価できる。

ただ、学力面でまだまだ課題があるようなので、さらなる学力向上に努めてほしい。また、家庭背景に諸事情のある児童については、民生委員とも連携して、力になりたい。